

選択 SSH 班

SSH 合宿

SSH 研究開発部

平成 27 年 6 月 22 日

6 月 19 日(金)、20 日(土)の長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科附属環東シナ海環境資源センターで 1 泊 2 日の研修を行いました。これから 3 年間課題研究を行う 1 年生の希望者 25 名による合宿で、実習や長崎県の主要産業である水産関係の施設を見学します。実習の技術や知識とともに、研究に対する興味・関心を喚起し、自ら行う課題研究に対する心構えを養おうとするものです。



研修場所である長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科附属環東シナ海環境資源センター
昨年完成したばかりの建物です。

日程

1 日目

①長崎県総合水産試験場見学

②講義

「有明海のハゼについて」

長崎大学 石松 惇 先生

「赤潮と食物連鎖」

松岡数充 先生

③実習①

「アサリの解剖」

長崎大学 石松 惇 先生

2 日目

①長崎魚市見学

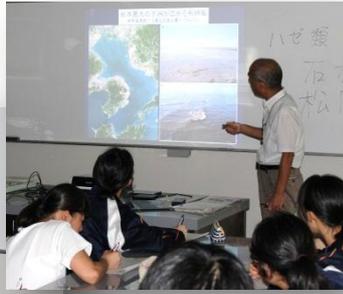
②実習②

「魚の解剖」

長崎大学 石松 惇 先生



長崎総合水産試験場は全国でも有数の規模を誇り、水産県長崎にふさわしい施設です。調査船も所有し、「開かれた試験場」として試験研究が行えるよう一般に利用されています。はじめに、長崎県の水産業に関する映像を見た後、試験場内を案内してもらいました。また、いけすも見学することができました。生徒達は興味津々で水槽やいけすをのぞき込んでいました。



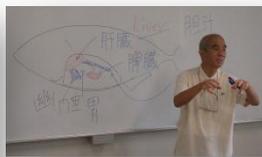
長崎大学大学院水産・環境総合科学研究科 石松惇先生と松岡敷充先生の講義の様子です。有明海のハゼ類や赤潮の原因プランクトンについて学びました。



アサリの解剖の実習です。日頃食べているアサリの体のつくりを研究しました。アサリがプランクトンを摂取している様子も観察できました。



魚市の見学です。(株)ヤマスの渡邊さんに丁寧に説明していただきました。また、日野商店ではくじらについて教えていただきました。その後は、水産食堂でおいしい朝食をいただきました。



最後は魚の解剖です。石松先生に教わりながら、解剖していきます。普段たべているアジの解剖ですが、内臓などに注目するのは初めてで生徒は新たな発見がたくさんありました。この宿中長崎大学の学生のみなさんにもたいへんお世話になりました



長崎大学の先生方、学生のみなさんありがとうございました。